



副菜は“噛む”を習慣に

よく噛んで食べること、日々の食事で意識していますか。

不足しがちな副菜に使う野菜、豆類、海藻は、噛む習慣を促してくれます。



○噛まない習慣は要注意！

早食い、急いで食べる時など、よく噛まずに飲み込んでいませんか。

噛まずに食べ物を飲み込むと、

- 満腹感を感じにくく食べ過ぎになりやすい
- 食べ物本来のおいしさが感じられない
- 唾液が分泌されにくい
- 内臓での消化がされにくい



など様々な影響が考えられます。

○生活リズムの見つめ直しも

空腹が続いた後の食事では、噛まないで飲み込んでしまいがちです。

生活リズムを見直し、適切な時間にゆっくり食事ができるようにすることも一つです。



○噛むための、日々のちょっとしたひと工夫

普段の食事に少し気をつけることが、噛む習慣につながります。

チェンジ！ 食材は大きめにカット

ある程度、食べ物の大きさがあるほうが噛みやすくなります。

食材を細かく切りすぎないことがポイントです。



プラス！ 噛みにくい食材

野菜や豆類、海藻など噛みにくい

食材をやわらかな食材と組み合わせると、噛む回数が増えます。



ノー！ 汁物での流し込み

食材や切り方を工夫しても、みそ汁やスープなどの汁物やお茶で流し込んでしまうと、あまり噛まなくても飲み込めてしまいます。急いで食べない！を心がけましょう。



便利なものを上手に使って お手軽バランス食



時間が無くても
バランスの良い食事！

中食は上手に使えば、
時間が節約できるね



忙しい時に 便利なもの

カット野菜、冷凍食品、冷凍野菜、レトルト食品、お惣菜、缶詰、複合調味料（○○の素など）など、色々と便利な物があります。忙しい時には、これらを上手に使って手軽にバランスの取れた食卓に近づけましょう。

バランスの基本は、**主食：主菜：副菜 = 3 : 1 : 2** です。

「中食」を上手に使う時のポイント！

中食とは…？
持ち帰りのお弁当や
お惣菜など、そのま
まで食べられる状態
に調理されたもの。

- 主菜は種類が多くたくさん選びがち。副菜もしっかり組み合わせ。
- 調理方法や主な食材が似ていないか。

例) アジフライ+かき揚げ、コロッケ+ポテトサラダ など



中食を利用する時のポイント

おかずは 主菜(肉、魚、卵、大豆製品) 1に対して、副菜(野菜、海藻、きのこを使ったメニュー) 2を組み合わせましょう。

主菜 1



副菜 1

副菜 1

内類の献立

鶏肉のから揚げ、ハンバーグ、とんかつ、餃子、焼き鶏など



魚の献立

魚介類のフライや天ぷら、魚の煮付け、刺身など



卵の献立

だし巻き、茶碗蒸しなど



大豆製品

高野豆腐の煮物、揚げ出し豆腐など



主菜にから揚げやフライなど揚げものを選択した時は、副菜には煮物やおひたし、酢の物、サラダなど油の少ない料理がオススメです。

オススメ!

- 野菜のサラダ
- ひじきの煮物
- おひたし
- きゅうりの酢の物など

エネルギーが多くなりすぎる傾向に！

- ポテトサラダ
- スパゲッティサラダ
- マカロニサラダ
- 野菜の天ぷらなど

お寿司やオムライス、ミートスパゲッティなど、ごはんや麺などの**主食**と**主菜**が一体になっているものは、**副菜**をプラスしましょう。

主食+主菜



副菜 2



副菜も摂れる簡単レシピ

包丁、まな板を使わない



混ぜて焼くだけ

ツナの彩りオムレツ

材料(作りやすい量)

ミックスベジタブル	1カップ(約120g)
ツナ缶	1/2缶(約40g)
卵	2個
塩・こしょう	適量
油	適量

- 干切りキャベツや冷凍ほうれん草など他の野菜でも作れます。
- 食材によって、彩りや食感が変わります。



作り方

- ミックスベジタブルを解凍しておく。
- 全ての材料をボールに入れて混ぜる。塩・こしょうで味を整える。
- 油を引いた卵焼き器に流し入れ、蓋をして蒸し焼きにする。裏返して両面を焼く。

煮るだけ

サバのトマト煮

缶詰の味付けを活用して

材料(作りやすい量)

サバの水煮	1缶(約190g)
トマト缶	1/2缶(約200g)
冷凍いんげん	80g

- 水煮の汁も使うことで味を付けます。
- ブロッコリー・やきのこ類を加えてもおいしく出来ます。



作り方

- トマト缶を鍋に入れ、トマトを崩す。いんげんは解凍しておく。
- サバ缶を汁ごと入れて煮込む。最後にいんげんを加えて軽く煮る。

総菜を変身!

お手軽白和え

お総菜をアレンジすることで、たっぷり副菜ができます。

材料(作りやすい量)

ひじきの煮物	70g
絹ごし豆腐	150g
ゆでほうれん草	70g
すりごま	大さじ1

- 電子レンジを使う水切りは、機種やワット数により差があるので様子を見て調節してください。



作り方

- 絹ごし豆腐はキッチンペーパーでくるみ、レンジで約1分半加熱して、水切りを行う。
- (1) の水切りした豆腐、すりごまをよく混ぜて和え衣をつくる。ほうれん草、ひじきの煮物を入れて和える。